

學生大會實行委員會

全集の書譜石。

新陳要求明確に示せ
賃料上昇反対、賃費値上げに因る大會開催の準備を進める
賃料上昇止め新陳要求明確に示せ

全ての民主的當友は民衆間に結集しよう

会一般セスに向けて、学生たる裏行委を全とのクラス、文科、自治組織、ヨーロッパの参加の下に組成し、これを以て無内閣の空アクトにしておなづかず、英マル語君の言う如き、市・大臣当局の値上げ運動に単に敗北主義的に内容技々の「更迭アクト」を対置する」と決定したことはどうぞ。

更に、現在、文部当局の居直りと反動性を粉碎し、學費一賛斗争に勝利すべく、學長同友のみならず、市行動、ストライキ等の要請をしておる中で、全国連合全国連合の全學の統一した學費一賛斗争の前途を保障すべき半島的斗争機関をつくつてゆくにあつて、全国連合の全體ではなく、學長同友と市行動といつ具体的問題を中心とした斗争機関であるべきである。更にそれは、今までの全国連の大衆的運動を継承し、クラス學科、自治組織と基礎にして斗争機関であるべきであり、それこそが、學費一賛斗争の大衆的高揚と勝利を保障するものである。

學長諸君の一の立つてゐる學費一賛斗争の全般的な高揚の中でも、學生「共斗」承諾書は、自らの位置付けと政府でして結果として「全國行実行委」なる私的团体をもつて、斗争を分断せしめてゐる。彼らが全国連を「學費値上げの首謀、本質、斗争勝利の展望の決定的な意見の相違を尊斗争といつて媒介頂て貶謔し、「内省抜きで行動上、戰術のみの一致でとりつゝる、さくて」「野名ロ」と諱諱中傷していふ點にも見られる如く、彼らは、諱諱と眞木誠志の一致といつて統一行動の原則を全く理解せず、思想の一一致によるて大衆運動を組織しないとする(したがつて自の愚鈍にせば、自のじ衆運動力である)行為活動主義者である。更に、ケラズモ組織せず、自治機関の引き受けしと面い込みに奔走し、しかも昨年一切の斗争を総括方に流し込み全く斗争を放棄してしまつた民青が、このとくつかのヒョウ寺の高場にありのと、果して、全国連の諱諱と斗争破壊に走り回つてゐるといひ糾弾されなければならぬ。彼らは、現在、現実に多数の斗争団体を有性しておる中で、ケラズモ中止につけに大衆運動の統一を保障し合意し止揚していふべきだと問題を積極的にたてず、

製したる取扱主義者、セドー主導者である。我々は、前田「共斗」、國賀諸君が自らの誤りを自己批判し、我々と共に歩みを進める所である。

×××××××××××××××

先日の學生共斗派に付の我ば同盟への批判に付し、我々の事由田良輔と述べておきたい。

我々の「日アバ」に対する事由田良輔曰、我々が一時

兵、一貫して主張したことと兵に、貢献せざる事にて日アバで沿著をうつむじゆの事に至り、それ自らの理論田、思想田水某、眞鷗うつてゐる。党中央局の理論田、思想田の範囲でせんじつづきもあり、カケバシ略報の破作は一昨日の10、16學生工作と並べる革マル派の事件の中に明確に表われていく。我々は、一の原則をあらゆる斗争の中で貫徹すべく、先頭に立つて戦つておる事意する。

二の事件の発端曰、我々に「首都学生戰線」ぶりの西田の破作、我が同盟の大衆的、戦斗的學生運動の進展」にて恐怖」を感じる事由田良輔、同盟高崎至育大支部の同士に對しハレーニチニモ、暴力的、駆け出る組織的に行なう。ここに云ひし、同盟高崎至育大支部のマーチ、暴力的敵対を停止せんとして開闘で行なわれたものである。

高崎至育大支部は、學生の「指導」を拒否し、我が同盟に結果して支部であり、それで恐れに陥つた高崎至育大支部に付し組織破壊を行つて、そこでのである。我々に學生の組織破壊を断固糾撻するとして、自己批判と因つて口にのである。ソフコラダツの過程を行なつた事を認めた。

我々は、今後一月、平和の民主主義、學生運動の統一の

ため、全国の反対の立場に立ちて其の事を宣言する。

一九四三年一月十六日

「民主主義學生同盟」

市大支部（統一合議）